

令和5年度教員研究活動報告書

飯野 由美子 教授（ドイツ資本市場実証研究）

学術書の刊行

（単著）

令和6年3月『ドイツ再生可能エネルギー転換の地域分散性と再公営化』
Amazon Kindle.

（共著）

令和6年3月 森島隆晴, 飯野由美子「クラウドサービスと生成AIを利用
したビッグデータ・AI解析手法を文系学生の学びに採り入
れる」『総合地域研究所紀要』第14号, pp.80-89.

佐々木 英憲 教授（金融経済関係）

その他著作

令和5年5月「国家戦略となった金融教育で大学が果たす役割」:

NetMoney : <https://zuu.co.jp/media/stock/interview-with-sasakihidenori>

令和5年8月 一般社団法人キャリア協会インタビュー :

<https://job.or.jp/interview-sasaki/>

佐竹 恒彦 教授（起業, 中小企業再生）

その他著作

令和6年3月「アントレプレナーシップの経営理念とコーポレート・ガバナ
ンスー『地域・起業コース』発足に際しての事例検討ー」『敬
愛大学総合地域研究』第14号, 敬愛大学総合地域研究所, pp.
41-54, 共著（研究代表者：粟屋仁美, 共同研究者：佐竹恒
彦）. ※[総合地域研究所 令和4年度「共同研究」報告書]
として掲載

学会での役職

経営行動研究学会・理事

高岡 英氣 教授（スポーツ哲学，スポーツビジネス論）

学会発表等の活動

令和6年2月 “Combined Effects of Yuru Exercise and Autogenic Training on Interoception and Mental Health in Student-Athletes”
（共同報告者：谷木龍男）ARIHHP Human High Performance Forum 2024, 筑波大学.

学会での役職

日本体育・スポーツ・健康学会 機関誌編集委員

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金：基盤研究（A）「高齢・障害者の雇用政策・差別禁止法の効果研究：組織における人間行動の影響への着目」[17H01000]
（研究代表者：高木朋代）2017年度～2023年度，連携研究者

高木 朋代 教授（人的資源管理）

学術論文

令和5年10月 「高齢者の就業選択における向社会性とパレート最適：「すりかえ合意」行動はなぜ起きるのか」『経営行動科学学会第26回年次大会論文集』, pp.139-143. ※学会報告論文

学会発表等の活動

令和5年10月 経営行動科学学会 第26回大会（於 東京都立大学 南大沢キャンパス）
報告課題 「高齢者の就業選択における向社会性とパレート

最適：『すりかえ合意』行動はなぜ起きるのか」

※研究報告および「セッションⅡ」座長

令和5年10月 日本労働社会学会 第35回大会（於 青山学院大学 青山キャンパス）

報告課題「物語にみる障害者差別の変遷と『労働』の意味付け：文芸作品分析とサーベイ調査結果からの考察」

※自由論題報告

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽）令和3年度～令和5年度 研究代表
本学 研究プロジェクト補助金（共同研究）令和5年度 研究代表

成松 恭平 教授（管理会計・原価計算）

学術論文

令和5年6月「意思決定支援のための戦略会計情報の有用性を考える—限定合理性のもとでの意思決定方法の現実—」『研究論集』第103号, 敬愛大学経済学会, pp.3-27.

研究分野における外部団体等からの褒賞

日本経済会計学会 功績賞（2021年10月23日 授賞式）

馬場 正弘 教授（経済政策, 産業政策, 日本経済論）

学会での役職

日本経済政策学会・関東部会理事

森島 隆晴 教授（教育経済学）

学術書の刊行

（共著）

令和6年3月 森島隆晴，飯野由美子「クラウドサービスと生成AIを利用したビッグデータ・AI解析手法を文系学生の学びに採り入れる」『総合地域研究所紀要』第14号，pp.80-89.

矢口 和宏 教授（公共経済学・経済政策）

学会での役職

公共選択学会理事（事務担当）

日本経済政策学会本部幹事，国際会議プログラム委員会委員

彌島 康朗 教授（キャリア教育）

学会発表等の活動

令和5年6月 口頭発表「産学連携キャリア教育『ワイガヤLab』の取り組み」令和5年度全国キャリア教育・就職ガイダンス，文部科学省，就職問題懇談会，独立行政法人日本学生支援機構，on-line.

令和5年10月 口頭発表「汎用的能力の学修に資するキャリア教育」キャリア教育学会第45回研究大会・キャリア教育学会，国立大学法人愛知教育大学.

令和6年3月 口頭発表「汎用的能力をリフレクション分析で測る試みとシーン別キー・コンピテンシー」第30回大学教育研究フォーラム・大学教育研究フォーラム実行委員会，on-line.

和田 良子 教授（実験ファイナンス）

学術論文

令和5年10月「あいまいさ回避度およびあいまいな情報のトリートメント能力が家計の株式保有にもたらす影響—」『ゆうちょ資産研究』No.30, pp.85-114.

学会発表等の活動

（国際）

令和5年6月 “Comparative Risk and Ambiguity Aversion”, Economic Society Association European Meeting, Lion, France.

令和6年2月 “An Experiment for Dilation Property in Ambiguity”, Southern Experimental Economics Team, Malaga, Spain.

（国内）

令和5年12月 “Comparative Risk and Ambiguity Aversion” 行動経済学会, 第17回, 高知工科大学.

令和5年12月 “What causes different experimental observations of prudence and temperance?” 行動経済学会, 第17回, 高知工科大学, 討論者.

渡辺 智之 教授（財政学）

学術書の刊行

（共著）

令和5年7月「高齢期に向けた資産形成：2024年のNISA制度拡充を踏まえて」証券税制研究会（座長 田近栄治）編『日本の家計の資産形成：私的年金の役割と税制のあり方』（中央経済社）第6章, pp.106-132.

学術論文

令和5年4月「Web3と国際課税」『JMC Journal』2023年3/4月号, pp.1-18.

その他著作

令和5年11月「超高齢化社会における資産と税」『証券レビュー』第63巻第11号, pp.1-6.

学会発表等の活動

令和6年2月「デジタル経済と消費課税」日本機械輸出組合, 国際税務研究会.

学会での役職

国際租税協会 (IFA) 日本支部理事

大久保 利宏 特任教授 (スポーツビジネス)

学術論文

令和5年12月「ウィスコンシン州でのスクーリングの企画・実施、その評価」『研究論集』第104号, 敬愛大学経済学会, pp.31-52.

学会での役職

日本スポーツ産業学会委員

日本地域活性化化学会委員

競争的資金等の獲得状況

テーマ「千葉県内の自治体におけるインターンシップについて」

滝川 恒昭 特任教授（中世東国政治・社会・文化史）

その他著作

（共著）

令和5年9月『戦国武将列伝3 関東編下』戎光祥出版.

令和6年3月「里見紀行3」『里見氏研究』3号.

根本 敏則 特任教授（交通経済学, ロジスティクス）

学術書の刊行

（共著）

令和6年3月『トラック輸送イノベーションが解決する物流危機』兵藤哲朗, 根本敏則編著, 成山堂書店.

学術論文

令和4年6月「高速道路におけるトラック隊列走行・自動運転に対応した物流拠点の整備に関する研究」『日本物流学会誌』No.30, pp.57-64, 共著：渡部大輔, 平田輝満, 坂井孝典, 根本敏則, 兵藤哲朗.

令和5年6月「越境ネット通販の増大と通関制度の課題～中国発日本向け貨物を事例として～」『日本物流学会誌』No.31, pp.113-120, 共著：宮武宏輔, 根本敏則, 林克彦, 石原伸志.

令和5年6月「欧州インターモーダル物流拠点デュイスブルグ港の課題」『日本物流学会誌』No.31, pp.193-200, 共著：根本敏則, 味水佑毅, 小澤茂樹, 稲庭暢.

令和5年10月「東京・福岡間の宅配貨物輸送手段の労働生産性・CO2排出量の比較」『海運経済研究』No.57, pp.1-10, 共著：加藤博敏, 根本敏則, 高野茂幸, 堰向直彦.

その他著作

- 令和5年1月「データ共有がもたらすエコシステム」『運輸と経済』Vol.83, No.1, pp.5-13, 座談会.
- 令和5年6月「THE2024年問題—日本のトラック・輸送・物流は生き残れるか?」『月刊マテリアルフロー』流通研究社, pp.40-46.
- 令和5年7月「欧州インターモーダル物流の課題～コロナ・ウクライナ戦争の影響～」『運輸と経済』Vol.83, No.7, pp.76-80.
- 令和5年7月「間近に迫る「物流の2024年問題」」『運輸と経済』Vol.83, No.7, pp.4-12, 座談会.
- 令和5年7月「デジタルタコグラフの義務化」『運輸と経済』Vol.83, No.7, pp.2-3.
- 令和5年9月「ドイツにおける縦列駐車場の展開～高速道路の休憩施設における駐車マス不足問題の解決に向けて～」『高速道路と自動車』Vol.66, No.9, pp.27-31, 共著：味水佑毅, 稲庭暢, 根本敏則.
- 令和5年10月「「2024年問題」：物流構造改革の好機」『交通工学』Vol.58, No.4, pp.1-2.
- 令和5年10月「日本の交通における最近の動向」『交通政策研究2023』日本交通政策研究会, pp.4-15, 共著：加藤一誠, 中村知誠, 根本敏則.
- 令和5年10月「道路貨物輸送分野におけるカーボンニュートラル政策の評価」『交通政策研究2023』日本交通政策研究会, pp.24-25, 共著：早川祥史, 味水佑毅, 根本敏則.
- 令和5年10月「自動運転技術の社会への展開」『交通政策研究2023』日本交通政策研究会, pp.60-61, 共著：中村文彦, 根本敏則, 橋本尚久.
- 令和6年2月「物的労働生産性の向上による持続可能な物流の実現」提言『日本労働研究雑誌』No.704, p.1.
- 令和6年2月「貨物車両の長時間駐車を考慮した出発時刻管理による駐車容量拡大手法に関する研究」『土木学会論文集』No.80, No.2, 22-00149, 共著：深谷泰己, 平田輝満, 根本敏則.
- 令和6年3月「物的労働生産性の向上による持続可能な物流の実現」特別

寄稿『港湾』Vol.101, pp.6-7.

学会での役職

日本交通学会 理事
(公社)日本交通政策研究会 専務理事
日本海運経済学会 理事
日本計画行政学会 評議員
(財)運輸調査局「運輸と経済」編集委員

競争的資金等の獲得状況

高速道路の休憩施設における大型トラックの駐車問題の解決に向けた提案
(研究分担者：根本敏則) 科学研究費補助金 2021-2023年度
インフラ損傷者負担原則に基づく高速道路有料道路の提案
(研究代表者：根本敏則) 科学研究費補助金 2020-2023年度

星野 智樹 准教授 (世界経済論, アメリカ経済論)

学術論文

令和5年7月「S.ストレンジにおける『国家の退場』論の整理」『立教経済学研究』第77号第1号, 立教大学経済学研究会, pp.57-58.
令和6年3月「アルゼンチンにおけるミレイ政権発足前後の通貨動向—『ドル化』政策および中央銀行廃止を考える足がかりとして」『総合地域研究』第14巻, 敬愛大学総合地域研究所.

その他著作

令和5年7月 星野智樹・石田周「櫻井公人先生の『人と学問』」『立教経済学研究』第77号第1号, 立教大学経済学研究会, 担当：第2節(2)および第3節.

村上 翔一 准教授 (会計学)

学術論文

令和5年8月 第2章 実務対応報告第38号の理解と処理, 日本簿記学会簿記理論研究部会『新会計基準等が想定する帳簿記録と会計情報の研究』最終報告書, pp.27-40.

学会発表等の活動

令和5年8月「新会計基準等が想定する帳簿記録と会計情報の研究 (最終報告)」, 日本簿記学会, 駒澤大学.

吉田 直広 専任講師 (確率論)

学術書の刊行

(共著)

令和6年3月 藤田岳彦, 柳下翔太郎, 吉田直広「ランダムウォークと確率解析 [増補版]」日本評論社.

学術論文

令和5年7月 (査読あり) “Notes on a certain local time and excursions of simple symmetric random walks” Takahiko Fujita, Naohiro Yoshida, Proceedings of the Japan Academy, Series A, Mathematical Sciences 99 (7) 48-53.

令和5年8月 (査読あり) “An example showing that the sum of two normal random variables may not be normal” Takahiko Fujita, Naohiro Yoshida, International Journal of Mathematical Education in Science and Technology 1-5.

令和5年9月 (査読あり) “An introduction to excursion risk through discrete-time excursions” Takahiko Fujita, Naohiro Yoshida, JSIAM Letters 15 97-100.

令和5年11月（査読あり）“On further application of the zeta distribution to number theory” Takahiko Fujita, Naohiro Yoshida, Research in Number Theory 9 (4).

令和5年12月（査読あり）“A micro-foundation of a simple financial model with finite-time singularity bubble and its agent-based simulation” Naohiro Yoshida, Economics and Business Letters 12 (4) 277-283.

令和6年2月（査読あり）“Some martingale properties of the simple random walk and its maximum process” Takahiko Fujita, Shotaro Yagishita, Naohiro Yoshida, Statistics and Probability Letters 110076-110076.

学会発表等の活動

（国際）

令和5年8月 “Micro-foundations of some financial models with bubbles” Naohiro Yoshida, ICIAM 2023 TOKYO, Waseda University.

（国内）

令和6年1月 「ゼータ分布の数論への応用について」吉田直広，企業研究所公開研究会，中央大学後楽園キャンパス。

脇黒丸 新太郎 専任講師（会社法・金融商品取引法）

学術論文

令和5年12月 「非財務情報の開示に関する改正及び開示体制について」『研究論集』第104号，敬愛大学経済学会，pp.3-27.

学会発表等の活動

令和5年7月 報告（単）「記述情報の情報開示に関する改正及び重要性概念との関係性について」明治大学商法研究会，明治大学駿河台キャンパス。

令和5年11月 コメンテーターとして参加，明治大学商法研究会，明治大学

駿河台キャンパス.
